

水環境に関する最新動向

■ 開催概要

日時：平成26年 **12月9日**（火） 15：00～17：15

会場：新潟大学 駅南キャンパス 「ときめいと」

開発途上国を中心とする世界各地では、急速な人口増加や経済発展を背景に、飲料水や工業用水など水に関する問題が発生しています。高度な水関連技術を有する日本にとって大きなビジネスチャンスであることから、水に関する問題は高い関心を集めています。

本講演会では、水関連技術と水ビジネスの専門家をお招きし、水環境と水問題に関する最新動向についてご講演していただきます。

新潟駅南口 PLAKA1 2F



■ 講演概要

□ 15:00 – 16:00

『**廃水処理操作における処理速度とエネルギー消費量 -人工湿地による廃水処理-**』

新潟大学工学部化学システム工学科 教授 **山際 和明 氏**

廃水処理方法には、廃水の性質や量、施設の立地条件などにより多くの選択肢がある。日本では活性汚泥法のようにエネルギー消費量が多くても設置面積が小さい処理方法が主に採用されている。一方、人工湿地や土壌処理は設置面積が広いもののエネルギー消費量は少ない。ここでは、人工湿地の特徴を概説するとともに、処理を高速化・高信頼化するための方策についてもエネルギー消費と関連させて紹介する。

□ 16:15 – 17:15

『**海外水ビジネスの市場動向と勝てる日本の水戦略**』

グローバルウォータ・ジャパン 代表 **吉村 和就 氏**
 (元 ㈱荏原製作所本社 経営企画室部長)

経済の発展と人口増加により海外水ビジネスが100兆円規模になると予測されている。日本には世界に誇れる水処理の技術があるにもかかわらず、なぜ海外市場で勝てないのか、また勝つための戦略はどうあるべきか詳述する。

講演会終了後、懇親会を予定しております。是非ご参加ください。会費 ¥4,500

■ お問い合わせ／お申し込み

新潟大学 産学地域連携推進機構 産学地域人材育成センター 担当：佐々木

Tel/Fax : 025-262-7886 E-mail : cfil@gs.niigata-u.ac.jp

下記の申し込み事項を添え、FAXまたはEメールでお申込みください。締切：11月28日（金）

定員 80名(先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。)、参加費無料

所属	氏名	電話番号	Eメールアドレス	懇親会出欠 出席・欠席
----	----	------	----------	----------------